

宇宙業界におけるヘルスマネジメントの取組み



2020年10月27日

株式会社IHIエアロスペース
宇宙輸送システム技術部 システム技術室
主査 野口 裕一

この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
また、用済み後は、返却または破棄願います。

目次

1. 会社紹介

2. 目指す姿

3. 取組み

4. まとめ

1. 会社紹介



この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
また、用済み後は、返却または破棄願います。

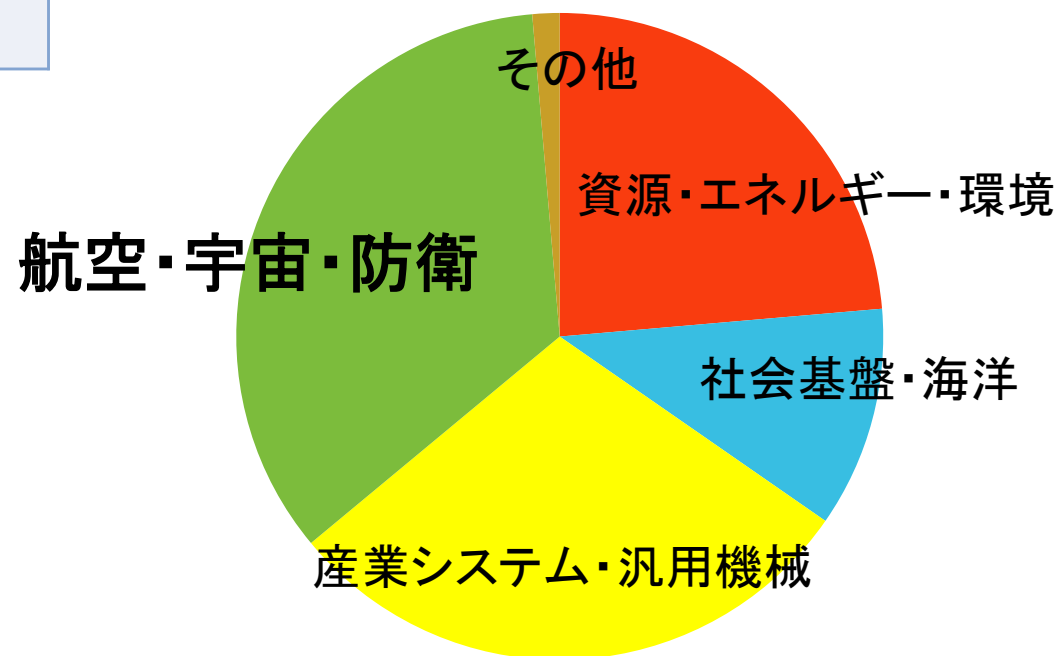
IHIグループの概要

社名	株式会社IHI
本社	東京都江東区豊洲三丁目1番1号 豊洲IHIビル
創業	嘉永6年(1853年)12月5日
資本金	1,071億円
代表取締役社長	井手 博
売上高(単独)	6,202億円(2020年3月期)
売上高(連結)	1兆3,865億円(2020年3月期)

従業員(単独)	7,741名(2020年3月末)
従業員(連結対象)	28,964名(2020年3月末)
国内工場	6工場
国内支社	8ヶ所
海外事務所	14ヶ所
関係会社数	216社(2020年3月末)



豊洲IHIビル



売上比率(連結)

この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
 第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
 また、用済み後は、返却または破棄願います。



プロセスプラント
原動機プラント
ボイラ
原子力など



都市開発
橋梁・水門
交通システム
など

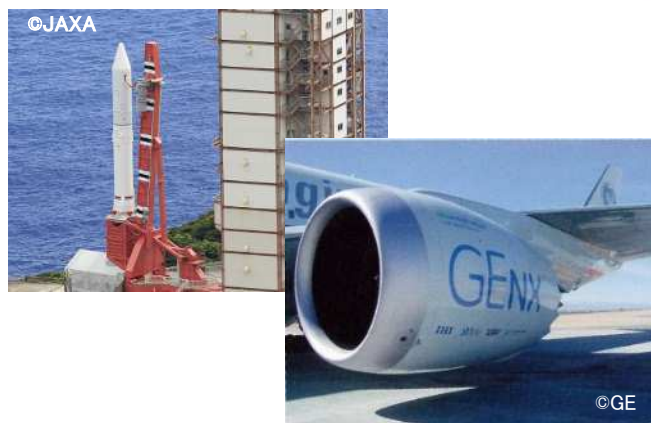


社会基盤
海洋

回転機械
車両過給機
農機・小型原動機
熱・表面処理など



航空エンジン
ロケットシステム・宇宙利用
防衛機器システム

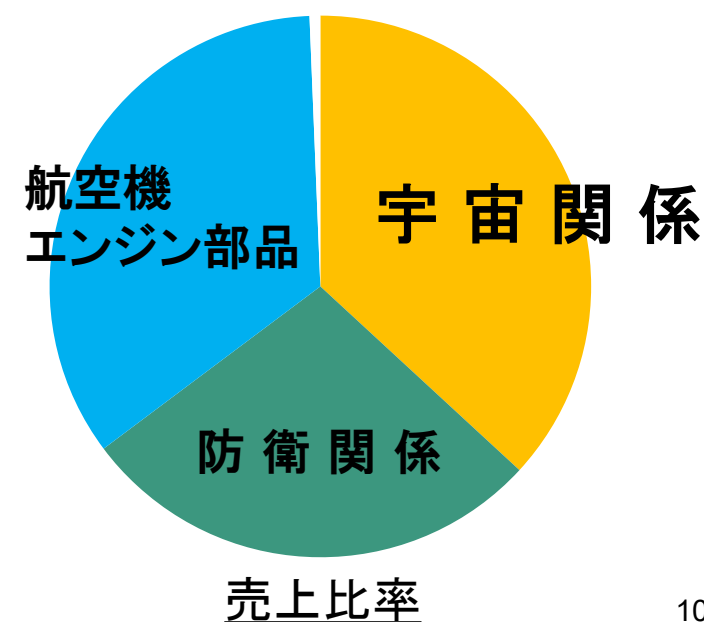


この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
また、用済み後は、返却または破棄願います。

会社名	株式会社IHIエアロスペース(IA)
英文名称	IHI AEROSPACE Co., Ltd.
本社所在地	東京都江東区豊洲三丁目1番1号 豊洲IHIビル
代表取締役社長	牧野 隆
資本金	約50億円(100%IHI持株)
事業内容	宇宙機器、防衛機器等の設計、製造、販売及び航空部品の製造、販売など
従業員数	約1,000人(2020年4月1日現在)
工場	富岡事業所(群馬県富岡市)



富岡事業所



この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
また、用済み後は、返却または破棄願います。

MISSION

新しい技術を
宇宙と、空と、美しい地球へ

VISION

ともに、うみだそう
新たな、素材を
新たな、商品を
そして、新たな、事業を

株式会社IHIエアロスペース

IA WAY

あの星へ。あの大空へ。
古代より人は天を見上げては憧れを抱き続けてきました。
安全で平和な、そして持続可能な社会へ。
無数の人々がそう願ってきました。
そのような想いを、願いを、現実へ、
宇宙・防衛・航空分野で挑み続けてきたのが、
IHIエアロスペースです。

私たちは、宇宙と空を駆け巡りたい、
美しい地球を守りたい、そういう集団です。
想いを、願いを、現実に変えていくために、これからも、
技術の最先端を歩むチームであり続けたいのです。

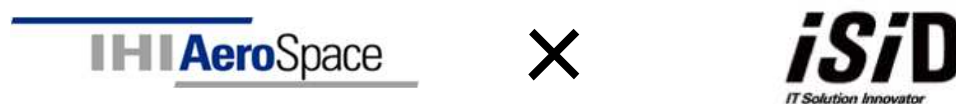
技術に完成はありません。進歩は一朝一夕には訪れません。
今のこの一歩、それがたとえどんなに小さな歩みであろうと、
その先に、新たな可能性、新たな未来が、
拓かれていることを知っています。
誠実に、技術の本質を見据え、みんなで、
粘り強く、今このときもその一歩を創りあげていきます。

2. 目指す姿 (講演にてご説明)

3. 取組み (講演にてご説明)

4. まとめ

- ✓ 宇宙業界においても製造業 × IoTの図式が適用可能。



- ✓ 将来の宇宙輸送システムの挑戦課題のひとつ、安全性・信頼性向上をPHMで実現。
- ☞ システムズエンジニアリングにデータサイエンスを加えたアプローチを採用。

安全性・信頼性向上 = (システムズエンジニアリング + データサイエンス) のPHM

- ✓ 故障予知のためのPHMシステムアーキテクチャ設計を実施。
- ☞ MADeを用いたリファレンスケースでの実践で、その有効性を確認。



- MADeを用いて、PHMを含むシステム設計を完了する。
- データ(特に故障データ)を収集・活用することで、安全性・信頼性を向上させる。
- PHM技術を適用し、将来の宇宙輸送システムを実用化して、新たな事業をうみだす。

この文書には、(株)IHIエアロスペースの秘密情報が含まれます。
 第三者および関係者以外への開示、目的外使用、無断での複製を禁止します。
 また、用済み後は、返却または破棄願います。

IHI

Realize your dreams